

ごみ処理巡り

住民監査請求

清瀬など3市の市民

清瀬、東久留米、西東京の3市のごみ処理を担う一部事務組合「柳泉園組合」(東久留米市)が来年から運営管理の長期包括委託を計画している。これに対し、3市の市民20人が1日までに「市民への説明がなされていない」などとして契約の取りやめを求める住民監査請求を行った。

問題となっているのは、ごみ処理を2017年7月から15年間の長期包括委託契約とする入札(予定価格約131億7千万円)。組合は今年8月31日に公告し、来年2月までに事業者を選定する方針だ。

これに対し、市民らは「ごみの量は今後減っていくため、長期の包括契約を結ぶのは合理的ではない」「巨大契約なのに、構成する3市の住民にも説明していない」などとして反発。12月1日までに3市の計20

人が組合に対して、契約の取りやめを求める住民監査請求を行った。

柳泉園側は「審査委員会などの手続きを踏んでおり、長期契約による財政的なメリットはあ 있다고考えている」としている。

この問題をめぐっては、市民らは3市の市議会12月定例会にも請願を提出している。

恋愛映画の名作が
デジタル・リマスター版で蘇る

上映中!
12/16(金)まで

© 1966 Les Films 13

朝日新聞・2016.12.2 (多摩版)